

広報

こうさ

Relations Kosa-Town Kumamoto



Contents 1月号・目次

特集 ■ P 2～3 : 新年あいさつ

トピックス ■ P 4 : 「甲佐町道路整備計画」を策定

まちの話題 ■ P 7 : 甲佐町男女共同参画推進事業講演会を開催

木の風景 ■ P 24 : 西寒野・大祇神社のクスノキ

No.486



毎月1日発行
January 2010



活力あるまちづくりをめざして 「新たな決意と実行」

町民の皆様、あけましておめでとうございませう。平成22年の年頭にあたり、新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、ご家族おそろいで希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から町行政に対して温かいご理解とご協力をいただき、改めて厚くお礼を申し上げます。

昨年は、国においても政権交代という大きな出来事がありました。

長年言い続けられてきた「地方分権」

や「地方主権」という言葉を背景に、期待と不安が交錯する中、来年度からの国の施策が、どう変わり、そして、地方行政が、どう変化していくのか、未知数な部分はありますが、町としては国や県からの情報を密にして、来る平成22年度の予算編成に向けて、適切な対応を行ってまいりたいと考えております。

さて、私も町長に就任以来2年余りを経過し、今年は折り返しの年を迎えます。

昨年の出来事を漢字1文字で表すと「新（新しい）」という言葉になるのですが、本町におきましても、「新」という言葉のとおり、町民の皆様そして議会のご理解をいただきながら、数々の新規事業に取り組みさせていただいた年でもありました。

教育環境については、新しく統合甲佐小学校の校舎が完成し、現在、新しい甲佐小体育館も順調に建築工事が進められております。また、町立老人ホーム「緑川荘」および町立緑川保育所が民間に移行し、新体制による運営が始まった年でもありました。



甲佐町長 奥名 克美

町は、これまで行財政改革を強力に推進し、財源確保に努力したこともあって、財政調整基金の積み増しや公債費比率の抑制といった点でも、徐々にその効果が現れてまいりました。そうした財政効果などを主な財源として、本年度から重点施策として取り組んだ「子ども医療費助成」（中学校3年生までの医療費無料化）や保育料の見直しなどによる子育て支援の強化に努める一方、地域活性化の一翼を担う「特産品開発事業」にも着手したところであります。

また、定住促進の推進を図る意味から、

今年度は、高度情報通信の基盤整備として、町内全域を対象とした「光ブロードバンド」の整備にも着手したいと考えております。この整備を行うことによって、地域間の情報交換をはじめ、企業進出あるいは各種産業や教育の環境整備、高齢者や災害時要援護者に対するネットワーク体制の確立など、多くの分野において事業効果が表われると考えられ、その成果が大いに期待される場所でもあります。

ところで、今後予想される甲佐中学校の改築などの学校施設整備には多額の経費が見込まれ、中長期の財政事情を考慮したときに厳しいものがありますが、少子高齢化の進行に対応した医療・保険・福祉施策の推進や、生活関連施設の整備、あるいは資源循環型社会の構築などの環境施策の推進など与えられた課題は多く、それらの問題の解決に向けて、引き続き、組織のスマート化や町有地の資産運用のあり方なども含めて検討をしていくことが重要だと考えております。

本年も、引き続き「町政に対する信頼の回復」を基本として、町民の皆様のご期待に沿うよう、強い信念と情熱を持ち続けながら、また職員一丸となって知恵を絞り、「甲佐町の再生」という大命題に向けた政策の実現に全力を尽くす所存であります。

今後とも、町議会をはじめ町民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が、輝かしい良き一年となることを心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございませす。平成22年の年頭にあたり、甲佐町議会を代表して、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方には新たな期待と希望をもつて、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、町議会に對しまして温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、新型インフルエンザが全世界において流行し、また、日本経済においては、物価が下落し緩やかなデフレ状態となり、更には、為替市場の急激な変動により円高が進みました。

日本政界においては、夏の衆議院選挙により国民の選択で政権交代と相成り、これまでの既成概念にとらわれることなく、無駄な予算、公共事業など従来の政権では手が付けられなかった「歳出の中心」を抜本的に変える「事業仕分け」等

新年の挨拶

甲佐町議会議長

中村 幸男



による大改革が進められているところで、このような不透明な社会情勢の中で、本町におきましては、甲佐中学校の校舎、体育館等の建設をはじめ、行財政改革、産業振興等課題は山積しております。このような中、議決機関としての議会は、

議事に与えられている議決権等の諸権限に基づいて、町民の方々の視点から、執行機関による事務事業全般を監視する責任を有しています。よって、議会としては、町民の皆様の代表であることを強く自覚し、日々研鑽に努め、開かれた議会づくり、負託に応えられる議会づくりを目指して、更に頑張っていく所存です。今後とも、町民の皆様の積極的なご提言やご支援をよろしくお願い申し上げます。年の初めにあたり、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

夢と希望にあふれる教育の創造

甲佐町教育長

溜渕 誠也

教育広報紙『ぼとんぼす』で家庭に紹介されていますので周知のことと思ひます。甲佐町教育委員会では、教育に對する熱い思いを可能な限り反映すべきと考え、関係機関と連携・協力して子ども「生きる力」を育み、夢と希望にあふれる甲佐の教育の創造への実現に努めたいと、昨年9月に「甲佐町教育振興基本計画」の概要版を策定したところで、

この計画では、家庭教育を教育の出発点と位置付け、幼児教育から学校教育、生涯教育へと繋げて、社会情勢の急激な変化にも適応できる逞しき、豊かな心をもち合わせた人材の育成に努めたいと考えます。

今後とも、21世紀を担う青少年が心豊かに健やかに成長するよう学校、家庭、地域がパートナーシップを発揮しながら、甲佐の教育を推進して参りたいと思ひます。

町民の皆様、新しい年を迎え謹んでお慶びを申し上げます。学校教育や社会教育において、地域の方々のご理解、ご協力、ご支援をいただいておりますことに、心から厚くお礼申し上げます。本年も心強いご支援をよろしく願ひいたします。さて、県教育委員会では、昨年3月に家庭教育、学校教育、社会教育の強固な連携のもとに、「くまもと『夢への架け橋』教育プラン」を策定し実行に移されることになりました。この教育プランは、家庭や地域での教育力の向上に向け、地方自治体と地域が取り組むべき教育振興に関する方策を総合的に取りまとめたものです。この教育計画の概要は、熊本県



効率的で透明性の高い道路整備を推進

「甲佐町道路整備計画」を策定

●道路整備の総合的な計画

町では、効率的で透明性の高い道路整備事業の推進を図るために、「甲佐町道路整備計画」を昨年12月に策定しました。

この計画は、本町の道路整備の総合的な計画として基本的な指針となるもので、道路整備に関して客観的で定量的な基準を策定し、その採択基準に基づいて意思決定を行う仕組みを構築することを目的とします。

また、「どこに、どんな道路が、いつごろ必要か」という評価基準により判定して計画的な道路整備を図るために、「道路整備5カ年計画」（平成22年～同26年）を策定し、整備の優先順位を定めます。

●透明性を高める基本方針

計画の基本方針として、幹線道路から生活道路まで広域的な関連性を前提とし、町民の皆さんの日常生活に必要な安全性、利便性を確立すべく道路整備を推進します。

また、道路整備事業の透明性

を図るため、事業の採択基準として、道路整備事業評価表を用いて点数化し、道路整備計画策定委員会の審議を経て事業を実施します。

【基本方針】

- (1) 骨格道路網の整備促進
- (2) 生活道路の整備促進
- (3) 歩行者等の安全対策
- (4) 道路整備事業の透明化

●整備の優先順位決定方法

整備計画道路の評価基準を基に整備の重要度を評価し、道路整備計画策定委員会の審議を経て優先順位を決定します。

具体的な整備計画については、整備路線の評価を行って、「道路整備5カ年計画」を作成しました。

なお、「5カ年計画」については、地域の要望や実情、財政状況や事業進捗状況などに応じて、適宜見直しを行います。

▼お問い合わせ先

町企画推進課

☎096・234・1111

(内線231)

●「道路整備5カ年計画」一覧

	ランク	区分	路線名	事業地 (起点～終点)	概要
骨格道路	A	町道	松ヶ崎妙見谷線	乙女橋～糸田字日出来	新設工事
		町道	作替内田線	下横田字作替～下横田字一丁田	改良工事
	B	町道	大町塔ノ木線	中早川橋～広域農道	改良工事
		町道	山出県道線	県道御船甲佐線 (元白旗第一) ～県道嘉島甲佐線	改良工事
		町道	横田大町線	横田364番地4先～大町602番地1先	新設工事
生活道路	C	町道	大原滝水線	県道稲生野甲佐線大原入口～上早川字大原	改良工事
		町道	世持麻生原線	世持集落～県道今吉野甲佐線	改良工事
	D	町道	西寒野打越線	西寒野字千才丸～東寒野字尾北	改良工事
		町道	下豊内有安線	県道三本松甲佐線～豊内字湯田	改良工事
		町道	下知行幸野線	上早川字下知行～上早川字幸野	改良工事
	町道	吉田県道線	県道嘉島甲佐線～吉田集落	改良工事	

●ランク：事業着手見込みで設定。「A」骨格道路で、おおむね3年以内、「B」骨格道路で、おおむね5年以内、「C」生活道路で、おおむね3年以内、「D」生活道路で、おおむね5年以内

●事業着手予定年：財政状況および事業進捗状況により変更あり

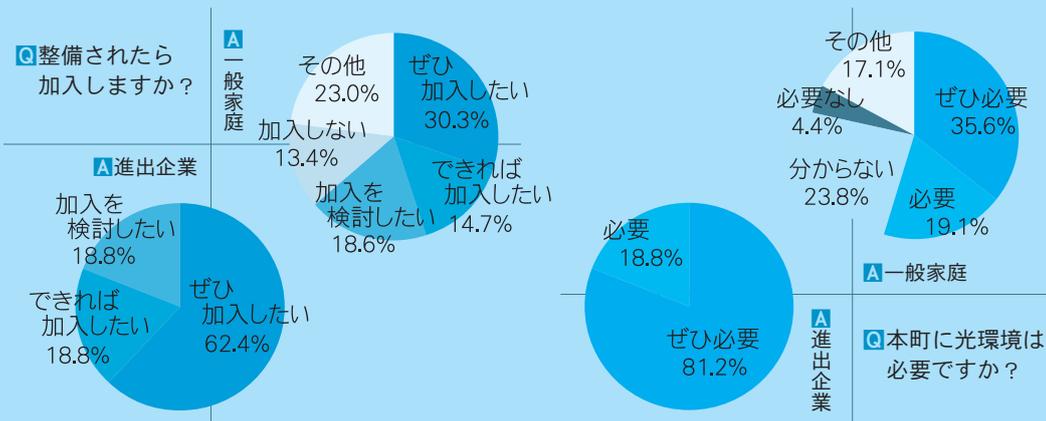
高度情報化社会に対応できる

まちづくりのために光環境を整備

光ブロードバンド整備を実施する民間事業者に対する補助を決定



●通信技術上の問題などにより、白旗地区の芝原・吉田などや乙女地区の田口・府領などをはじめとして、現在、町内の約6割の地域では快適にADSLによるブロードバンド通信も利用できない状況にあります。



町内全域での光ブロードバンド通信環境整備を決定

現在、本町は、インターネットなどをより快適に利用することができるブロードバンド通信環境でのサービスが、民間通信事業者から町内の一部にしか提供されていない状況にあります。そこで、町では情報通信に関する課題を総合的に解決するための検討を重ねた結果、町内全域を対象とした光ブロードバンド通信環境整備の実施について決定しました。

民設民営方式による整備で町の財政負担を大幅に軽減

整備に当たり、町の負担をより軽減するために、整備および運用を実施する民間通信事業者を選定し、サービス提供を始めるための事業費を補助する方式（民設民営方式）を採用します。この方式は、整備後の運用にかかる経費を町は必要としないため、町で通信施設などを直接整備した場合と比較して、後年にわたる維持・管理の負担が町には発生しません。また、利用者は、運用する事業者の通常のサービス料金で利用することができ、料金の中に整備に関する費用負担が追加されることはありません。

町内進出のすべての企業と約65割の世帯が利用を検討

整備推進を決定するにあたり、町では町内の全世帯および進出企業の全事業所を対象として、整備に関するニーズ調査を昨年10月に実施しました。

世帯調査（1,025世帯回答）では、整備の必要性に関する問いに対して約55割が「必要」と回答、整備後のサービスへの加入について約65割が「加入希望」と回答しました。

進出企業調査（16社回答）では、整備の必要性についてすべての企業が「必要」と回答、整備後のサービスへの加入についても、同様にすべての企業が加入希望と回答しました。

平成22年度内でのサービス提供スタートを目指し整備

町では今後、平成21年度内に整備を実施する事業者を選定し補助を決定します。

平成22年度後半以降でのサービス提供開始を目指し、整備を進めます。サービス提供につきましても、整備が完了した地域ごとに随時開始する予定です。

▼お問い合わせ先
町総務課

☎096・234・1111
(内線251)

▼乙女小運動場で人権の花の種を付けた風船を飛ばす児童たち



花を育てて人権を考える

乙女小で人権の花運動集会

11月26日(木)乙女小学校(内田純二校長145人)で、人権の花運動集会が開催されました。

同運動は、子どもたちがお互いに協力して花を栽培することによって、命の大切さや相手への思いやりなど基本的人権を尊重する精神を身に付けることを目的に実施。熊本地方法務局御船支局(坂川きみ子局長)、御船人権擁護委員協議会(上妻毅会長)が、4月27日(月)に同小で開催された同運動伝達式で花の種とプランターを贈呈し、児童たちが大切に育てました。

同集会では、内田校長が「半年間、花のお世話をした心配りが人権の心につながります」とあいさつ。上妻会長が「育てていた、大切にありがとう。命の大切さを学ばれたことと思いません」とお礼を述べました。

また、同協議会から児童に感謝状と記念品が贈呈され、各学年の代表児童が同運動に関する感想などを発表しました。

集会終了後に、参加者全員で、集めた種を入れた手紙を付けた無公害紙風船を飛ばしました。

手作り看板コンクールで2位

本田奈菜子さん(白旗小4年・古閑区)

11月14日(土)・15日(日)県農業公園(合志市)で開催された平成21年度手作り看板コンクールで、白旗小4年の本田奈菜子さん(古閑区)が制作した看板が2位に入賞しました。

同コンクールは、農業のある地域づくりの大切さをアピールすることを目的に、熊本県農協青壮年部協議会などが主催。本田さんは、親子で看板を制作して出展。看板の制作テーマについて、「おいしいちゃん、おばあちゃんが一生懸命農業をしているので、農作物に対してありがとうの気持ちを看板に描きました。看板を見て、食べ物への感謝の気持ちを持ってもらいたいです」と話しました。

入賞した作品は、今冬に開催される全国コンクールに出展されます。



▶手作り看板コンクールで2位に入賞した本田さんの作品

自主的な防犯活動に対し表彰

乙女校区防犯パトロール隊

10月14日(水)熊本市で、平成21年度くまもと犯罪の起きにくいまちづくり県民会議が開催され、乙女校区防犯パトロール隊が功労団体として表彰されました。

同会議は、安全で安心して暮らせるまちづくりの推進を目的に活動し、県、県警などで構成。同隊(安達満雄代表)は、平成18年に乙女校区の甲佐町地域福祉推進員11人で発足。下校時の児童の見守り活動など地域の安全を守る活動が評価され、今回の受賞となりました。

現在は、平成20年ごろから老人クラブなど地域全体に防犯活動への参加を呼び掛けた結果、地域に根ざした活動の輪が広がったことから、現在、同隊は発展的に解消し、地域や団体などが引き継いで活動しています。



▶表彰された乙女校区パトロール隊で代表を務めた安達さん

竜野川河川公園に桜を植樹

平成21年度上益城地域植樹祭

11月29日(日) 竜野川河川公園で、平成21年度上益城地域植樹祭が開催されました。

同植樹祭は、森林や樹木に対する理解を深め、緑化意識の高揚を図ることを目的に、上益城地域みどり推進協議会(山本幸会長)と町の共催。山本協議会長、奥名克美町長、郡内の各町長、竜野地区環境施設管理組合(北川國昭組合長)、龍野小学

校(清田設郎校長82人)の5・6年生、上益城地域のみどりの少年団など約150人が参加し、同公園にソメイヨシノ30本を植樹しました。

植樹祭の後には、龍野小児童とみどりの少年団などによる交流会も開催。児童らが、竹炭づくりや竹を使ったパウムクーヘンづくりなど野外調理に挑戦しました。



公園にソメイヨシノを植樹する竜野地区の区長の皆さん

町生涯学習センターに展示された民具や工芸品など



甲佐町活性化大会を開催

NPO法人ミテ・ミライ

11月21日(土)・22日(日) 町生涯学習センターで、甲佐町活性化大会が開催されました。

同大会は、本町住民のエネルギーを集結して、活力あふれる地域の創造を目指すことを目的に、NPO法人ミテ・ミライ(小屋迫誠理事長)が主催。同センター・ギャラリーモールでは、本町の伝統工芸の伝承を目的に、「わが家の匠の技」

と題して、竹炭やわら細工などの民具やガラス細工、竹細工などを展示。また、伝統芸能の活性化を図るため、「甲佐町の太鼓あつまれ」と題して町内の太鼓を一堂に集めて展示しました。

22日(日)には同センター・ホールで、明石照久さん(県立大学教授)を講師に招き、「まちづくりは人間力」と題して講演会を開催しました。

男女共同による社会と家庭を

甲佐町男女共同参画推進事業講演会



▲アメリカで実践されている男女共同参画に関する取り組みなどについて講演するキャリントンさん

12月1日(火) 町生涯学習センター・ホールで、甲佐町男女共同参画推進事業講演会が開催されました。

男女共同参画推進に関する取り組みの一環として、町、町教育委員会が主催。マルゴ・キャリントンさん(在福岡アメリカ領事館首席領事)が講師として、「夢の実現とワークライフバランス」と題し講演。約150人が参加しました。

キャリントンさんは、外交官の家庭で育ち、9か国での生活を経験。大学院を卒業後、大手企業勤務を経て国務省に入省し、東京アメリカン・センター副館長などを歴任して現職で活躍。夫、長男、長女の4人家族で、仕事と家庭を両立されています。

講演では、アメリカ社会での男女共同に関する認識や文化について説明。「男女は、仕事でも家庭でも同等であるべき。女性の労働力に着目して社会を構築することが、今後は更に重要。夫婦間でお互いの夢の実現について理解と協力をもって、バランスを取り合うことが大切」と話しました。

▼人権週間町民集会で人権作文を発表する町内児童・生徒たち



人権意識の高揚を図る

平成21年度甲佐町人権週間

12月5日(土)から11日(金)にかけて、平成21年度甲佐町人権週間における人権啓発を呼び掛ける各種イベントや行事が開催されました。

同週間は、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決や、人権意識の普及と高揚を目的に、同実行委員会(上妻毅委員長)が主催。

第1日は、町生涯学習センター・ホールで、甲佐町人権週間町民集会を開催。県立甲佐高等学校生徒の体験活動発表や町内児童・生徒による人権作文発表、人権擁護委員による男女共同参画についての寸劇、人権啓発ビデオの上映などが行われ、約140人が参加。最後に、同集会決議を全会一致で採択し、代表して吉川英徳さん(有安区)が決議を宣言しました。

また期間中は、町老人憩いの家での特設人権(心配事)相談の開催や、街頭での広報啓発活動、町内企業などを訪問しての人権啓発の呼び掛け、同センター・ギャラリーモールなどでの書道など人権作品の展示なども行われました。

県警音楽隊が生演奏を披露

あゆの里学園で訪問コンサートを開催

12月3日(木)津志田の知的障害者授産施設あゆの里学園(岩野慶一施設長46人)で、県警音楽隊によるコンサートが開催されました。

同隊(宮崎正道隊長33人)は、県警勤務の警察官で構成される音楽隊。イベントや施設などを訪れる演奏活動を通して、地域への警察活動の広報や交通安全・防犯に関する啓発に取り組

んでいます。

コンサートでは、クリスマスキャロルやアニメのテーマ、ジャズの名曲や時代劇音楽メドレーなど、さまざまなジャンルの曲を披露。学園生らは、リズムに合わせて手拍子をするなどして、演奏を満喫しました。

最後に、学園生が「今日は、楽しい演奏をありがとうございました。」とお礼を述べました。



▶あゆの里学園を訪問し、生演奏を披露する県警音楽隊

安心・安全な甲佐町の実現を

甲佐町・御船警察署第2回連絡会議

12月17日(木)町生涯学習センター・ホールで、「安全・安心な甲佐町の実現に向けた甲佐町・御船警察署第2回連絡会議」が開催されました。

今回は、犯罪や交通事故の発生状況について協議。また、行政や団体、地域など社会全体で連携して、高齢者の安心・安全を守るための連携を図る「高齢者サポートネットワーク」の構築について話し合いました。

町が取り組んでいる「安全で安心な町づくり」を効果的に推進するために、平成20年7月に御船警察署と協定を結んで設置。町と御船署が、防犯や交通安全、防災および災害



▶町生涯学習センターで開催された甲佐町・御船署第2回連絡会議

甲佐10マイルクイズ当選者決定

特賞・マウンテンバイクは山下典之さん（世持区）

12月6日（日）に開催された第34回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会で行われた「甲佐10マイルクイズ」の抽選が行われ、特賞以下各賞の95人が決定しました。

今回の問題は、「第1回大会は19□□年に開催された？」で、正解は「76年」。826人が応募し、正解は806人。正解者の中から抽選で特賞（1人）、甲佐10マイル賞（31人）、甲佐ふるさと賞（62人）、協賛で賞（1人）が当選しました。特賞には、山下典之さん（世持区）が当選。12月20日（日）町生涯学習センターで、奥名克美大会会長から賞品のマウンテンバイクが贈呈されました。そのほかの当選者については、賞品の発送をもって、発表に代えさせていただきます。



▶特賞のマウンテンバイクを贈呈された山下さん（写真左）

本町の未来について意見を出し合う

まちづくりワークショップ

12月17日（木）町生涯学習センター・ホールで、まちづくりワークショップ（第2回）が開催されました。

第6次町総合計画の策定にあたり、町民と行政が一体となって住みよいまちづくりについて協議するために、町が主催。同計画は、平成23年度からの10年間のまちづくりの基本となり、計画に基づき施策を進めます。

ワークショップの参加者は、まちづくりに関心がある町民を対象に募集し、45人が参加。「まちづくり」、「産業経済」、「医療・福祉」、「教育・文化」

の4グループに分かれて意見を出し合い、協議を重ねています。11月から1月までに3回開催し、取りまとめた意見などは奥名克美町長に報告され、第6次計画の策定作業に反映されます。



▲本町のまちづくりの課題と今後の解決方法などについて協議

歴史を学び芸術に触れる

親子で楽しむ芸術体験コンサートを開催



▲文化財学習会では、現在、平成20年度から発掘調査を実施している陣ノ内館跡（豊内）の発掘現場を現地見学

12月19日（土）町生涯学習センターほかで、「文化財のしらべ」親子で楽しむ芸術体験コンサート」と題して、本町の文化財についての学習会と童謡コンサートが開催されました。

同センター自主文化事業として、町教育委員会などが主催。文化財についての学習とコンサート鑑賞で、歴史や文化、芸術を一度に学び楽しむことを目的に企画。延べ約150人が参加しました。

文化財学習会は、町文化財保護委員の清村一男さんを講師に迎えて開催。最初に、同センターに展示された写真パネルで、町内の史跡や文化財などについて説明。続いて、中世の史跡・陣ノ内館跡（豊内）を見学。発掘調査現場などで説明があり、史跡について学習しました。

続いて同センター・ホールで開催されたクリスマス童謡コンサートには、テレビなどで活躍する童謡デュオ「DOYO組」が出演。訪れた観客の手拍子に合わせて、懐かしい童謡やクリスマスソングなどを美しいハーモニイで披露しました。

税金

◆ 申告の準備はお早めに

● スムーズで気持ちのよい申告を行うためにご協力を

申告の時期を迎えようとしています。スムーズで気持ちのよい申告を行うために、生命保険料支払証明書など、申告に必要な書類の準備を、お早めにお願ひします。

● 例年、申告相談のときに経費の整理や計算などを行っていたため、所要時間が長くなっていました。

そのため、自分で収支内訳書をきちんと記入した人が長い時間待たされることになり、多大な迷惑をかけるとともに、たくさんの方の苦情をいただいています。

● 本来「申告は、自分で収入・経費を計算し、所得や控除額を申告書に記入すること」(自書申告)が原則です。

● 収入・経費を計算してから申告相談にご来場ください

申告について全く分からないと思う人も、必要書類を整理して、収入や経費について項目ごとで構いませんので合計を計算してから、申告会場へご来場ください。

どうしても分からないところや難しいところは、熊本東税務署や

町税務課にお問い合わせいただくか、または、申告相談時に尋ねていただくこと説明します。

● 必要書類の例・農業所得の場合
・収入 販売金額の分かるもの、または、品目・収穫量が分かるもの

● 経費 農薬代、肥料代、田畑などの固定資産税、事業に要した分のガソリン代・電気代・水道代などの金額が分かるもの(領収書やレシート・明細書など)

● きちんと準備して記入している人への迷惑をなくすため、町民皆さんのご意見や税務署の指導により、申告相談時に計算を全くしてない人は、待合スペースの記載台に戻って記入していただくことがありますので、ご了承ください。

● 申告相談の詳しい日程につきましては、後日全世帯に日程表を配布します。

● 申告期間・会場について

▼ 申告期間

平成22年2月12日(金)～3月15日(月)

▼ 申告会場

町生涯学習センター研修室(町役場併設)

● ※還付を受けるための申告書は、期間前でも熊本東税務署に提出

することができません。

● 申告をしないと、町営住宅や児童手当などの手続きに必要な所得証明書などの発行ができません。また、国民健康保険税の軽減措置が受けられない場合がありますので、必ず申告をしてください。

● ※国保税の支払証明書が必要な人は、町税務課窓口で申請してください。納税義務者および同一世帯の家族について発行します。

▼ お問い合わせ先

町税務課
☎096・234・1111
(内線115)

● 熊本東税務署
☎096・369・5566

◆ 滞納処分の強力な推進と徴収体制の強化について

● 訪問徴収から差押え強化へ

町では、これまで行ってきた滞納者宅などへの訪問による徴収(臨戸徴収)での徴収の収納率が年々低下傾向にあることから、今後は、町税などの滞納者に対しては、積極的にあらゆる財産(動産・不動産、預金、給与、債権、生命保険など)を調査し、処分の強化を図る方針を決定しました。

また平成22年度からは、郡内5

町の徴収率向上のため、各町が税務課職員を相互派遣し協力し合う、併任徴収による捜索を実施し、徴収体制の強化と滞納処分を強力に推進し、滞納金の縮減に取り組みます。

● 差押えによる滞納処分の実施
差押えによる滞納処分は、次のとおり実施します。

【差押えによる滞納処分】

● 動産については、捜索(国税徴収法142条)により滞納者の住居、その他の場所につき捜索し、差押えを実施します。差し押さえた物件については、公売会により公売し、その代金を滞納額に充当します。

● 預金については、銀行などへ照会(国税徴収法141条)を行い、少額の預金であっても差し押さえます。

● 給与については、会社への訪問や電話での催告を行い、差押禁止額(国税徴収法76条)を除き差し押さえます。

● 町税は、重要な町の財源です。今回の強化は、財源の確保とともに、滞納者への自主納付の推進が大きな目的です。

● 滞納金の納付方法などについては、随時相談に応じます。

人権

◆ 豊かに共に生きるⅡ シリーズ⑦

● 犯罪被害者などの人権

近年、何の落ち度もなく突然に悲惨な被害に巻き込まれる極めて不条理な事件や事故が多発しています。熊本県においても例外ではありません。殺人、暴行傷害、DV、ストーカー、交通事故など、毎日いろいろな事件や事故が起きています。

このような被害を受けた人々は、犯罪などによる直接的な被害のみ

ならず、事件後の長期に及ぶ精神的被害、更には治療費の支出に伴う経済的負担など、さまざまな二次的被害によって苦しめられています。多くの犯罪被害者やその家族・遺族は、誰からも援助の手を差し伸べられることなく、一人で悩み苦しんでいるのが現状です。

犯罪被害者などの人権が守られるためには、被害者を保護する法律や制度などの整備のほか、精神的なケアや経済的な補償など、数多くの課題が残されています。

そのような被害者を社会全体で支えようという気運が高まり、被

害者の支援活動を行う民間団体として、「熊本犯罪被害者支援センター」が設立されました。

支援センターは、犯罪被害者やその家族・遺族に対して、精神的ケアなどを行うとともに、社会の被害者支援意識の高揚を図ることで被害者の被害の回復や軽減を図る団体です。主な活動として、月々金曜日の午前10時～午後4時に、職員や相談員が電話や面接による相談を受けています。また、弁護士による法律相談を毎月第2水曜日・第4木曜日に、臨床心理士などによる心理相談を毎月第1・第

3月曜日に実施しています。相談は無料ですが予約が必要です。さらに、被害者の希望に応じて法廷での付添いや警察・病院への同行、身の回りの支援などを行います。

毎日のニュースを見ても、突然に悲惨な事件や事故に巻き込まれるということが多発しています。誰もが被害者となりうるこの社会において、被害者が抱える問題は「明日は我が身」の問題でもあるのです。

▼お問い合わせ先
 (社)熊本犯罪被害者支援センター
 ☎096・386・0337

福祉

◆ 在宅の重度障がい者(児)の皆さんへお知らせ

在宅の重度障がい者(児)を対象とした手当には、次のものがあります。

● 特別障害者手当

在宅で、重度の障がいがあり、日常生活に常に特別の介護を必要とする20歳以上の人に対して支給する手当

【認定基準】

1 おおむね、重度の障がい(2つ以上ある人)、
 2 重度の肢体不自由

(寝たきりなど)で、日常生活活動のほとんどが一人でできない人、
 3 絶対安静の症状が長く続いている人、
 4 重度の精神障がい(知的障がいを含む)のため、食事・用便・会話などの日常生活能力がほとんどない人

【手当額】 月額 26,440円

● 障害児福祉手当

在宅で、重度の障がいがあり、日常生活に常に介護を必要とする20歳未満の人に対し支給する手当

【認定基準】

1 身体障害者手帳1～2級相当の

障がいのある人、
 2 療育手帳A1の人、
 3 そのほか、右記と同程度の障がいのある人

【手当額】 月額 14,380円

● 特別児童扶養手当

在宅で、中程度以上の障がいのある20歳未満の児童を養育している人に対して支給する手当

【認定基準】

1 身体障害者手帳1～4程度の障がい児、
 2 療育手帳A1、A2およびB1(一部)の障がい児、
 3 そのほか、右記と同程度の障がいのある人

【手当額】

- ・ 1級 月額 50,750円
- ・ 2級 月額 33,800円

● 共通の注意事項

(1) これらの手当は、受給資格を有する者が認定請求をして、認定を行う認定請求主義制度です。
 (2) 障がいの状態は、原則として診断書を提出していただき審査することになります。
 (3) 所得による支給制限があります。
 (4) 申請の際、手当により必要となる書類が違いますので、申請前にご相談ください。

冬の甲佐路を駆け抜ける

第34回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会



一般の部は今井が初優勝
国際の部はマサシが4度目
12月6日(日)、第34回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会が開催されました。

町、熊本陸上競技協会、熊本日日新聞社、熊本バス株式会社が主催。町役場前を発着点とする日本陸連公認コースで実施。5部門に514人が出場して行われました。正午の天候は曇り、気温9・5度、湿度54%、北西の風0・2メートル。

10マイル一般競技者の部は、先頭グループから最後に抜け出した今井正人(トヨタ自動車九州)が初優勝。同国際競技者の部では、独走でマーティン・マサシが、大会歴代2位の好記録で4度目の優勝を飾りました。

敢闘賞は、一般の部8位の小野裕幸(日清食品グループ)と同83位で県内登録の豊後拓也(自衛隊第42普通科連隊)、新人賞は同・6位の境見一(富士通)、女子敢闘賞は、中学1〜3位の倉田佑希美(本渡東)、宮崎杏奈(本渡東)、田中友里絵(本渡)が受賞。地元競技者賞は、中学男子の部14位の梅本祥太(甲佐中・和市内区)が選ばれました。

■大会結果

- ◆10マイル一般競技者の部(119人)
①今井正人(トヨタ自動車九州) 46分40秒、②北村聡(日清食品グループ) 46分41秒、③座間紅祢(同) 46分45秒
- ◆10マイル国際競技者の部(5人)
①マーティン・マサシ(スズキ) 44分52

■ 第34回甲佐ロードレース大会

12月6日(日)・町生涯学習センター発着2キロコース

12月6日(日)、第34回甲佐ロードレース大会が開催されました。

▶ 寒空の下、懸命に駆け抜ける男子の部に出場した児童たち



甲佐町体育協会、町教育委員会などが主催。小学生を対象として、町生涯学習センター前を発着点とする2キロコースで実施。男子の部55人、女子の部26人が出場しました。

男子の部は、渡辺大智くん(白旗小6年・山出区)が優勝。女子の部は、米原沙耶香さん(龍野小6年・上早川二区)が優勝しました。

■ 男子の部 (2キロ・55人)

順位	氏名	所属	記録
1	渡辺 大智	白旗小6年	7分30秒
2	守田 公樹	白旗小5年	7分31秒
3	喜讀 太一	龍野小6年	7分46秒
4	西本 未来	乙女小6年	7分51秒
5	美濃田瑛史	甲佐小5年	7分54秒
6	本田 智成	白旗小6年	7分55秒
7	重永 晃希	白旗小6年	7分58秒
8	本田 悠貴	龍野小6年	7分59秒

■ 女子の部 (2キロ・26人)

順位	氏名	所属	記録
1	米原沙耶香	龍野小6年	8分17秒
2	伊豆野夏実	甲佐小6年	8分19秒
3	甲斐友莉江	甲佐小6年	8分20秒
4	舛田 実優	甲佐小6年	8分26秒
5	緒方 梨花	甲佐小5年	8分35秒
6	渡邊 奈々	甲佐小5年	8分44秒
7	岩井 望	甲佐小6年	8分47秒
8	浜村 志穂	龍野小5年	8分57秒



秒、②ジョン・ツォー(トヨタ自動車)45分23秒、③ミカ・ジェル(トヨタ紡績)46分13秒

◆ 高校男子10キロの部(167人)

① タイタス・ワロル(鎮西) 28分48秒、② デイション・カルクワ(同) 28分55秒、③ タイタス・キハラ(同) 30分05秒

◆ 中学男子5キロの部(119人)

① 大手敬史(あさぎり上) 15分49秒、② 坂本新(西合志南) 15分53秒、③ 佐々木康智(本渡) 15分53秒

◆ 女子5キロの部(104人)

① 前田彩里(熊本信愛女学院高) 16分29秒、② 齋藤真希(同) 16分51秒、③ 上村文香(宗像高) 16分54秒



町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447

▼公民館主催講座のご案内

植木市見学・新春たこあげ大会

●町民大学「JA植木市見学」

- ・日時 1月27日(水)
集合・午前9時30分(町生涯学習センター)、出発・午前10時
戻り・午後3時(町生涯学習センター)
- ・会場 県農業公園「JA植木市」
- ・参加費 無料
※昼食は各自現地をお願いします。
- ・移動 貸切バス
- ・定員 45人
- ・お申し込み開始 1月6日(水)
※定員になり次第、締め切ります。

●子ども講座「新春たこあげ大会」

- ・日時 1月23日(土) 午前10時～正午(雨天の場合は中止します)
- ・会場 中甲橋グリーンパーク
- ・用意するもの 自分のたこを用意
- ・対象 どなたでも参加できます。

どの紙面をバッグの外側に見せるのかを考えて新聞紙を折り曲げ、その上に3・4枚重ねて製作。取っ手は、新聞を



▲英字新聞を使って製作した手作りエコバッグ

初に、バッグの本体を製作。エコバッグの作り方は、最初に、「エコバッグを作ろう!」と題して、新聞紙を利用してエコバッグを作りました。参加者14人。

▼子ども講座
エコバッグを作ろう!

角から丸めて2本作り、本体にガムテープで固定。自分の好きな大きさに折り込んで、マチを作ったら完成です。

今回のバッグは英字新聞を外側に使うことで、おしゃれな仕上がりになりました。

小学4年生の女子は、「英字新聞を使って、かっこよく使ってみました。今度は、包装紙を使って、家で作ってみますね」と、手作りエコバッグを手に帰りました。

▶トピック
上豊内文化展を開催

11月28日(土)・29日(日) 上豊内公民館で、第1回上豊内文化展が開催されました。同区(赤星昭洋区長99世帯)が、区の文化振興と活性化を図るとともに、地域の連帯感を高めるために企画。押

00点を会場いっぱいに展示しました。第1日は、公民館出前講座の落語会も併せて開催。高校生落語家「きよら亭うどん」さんの高座で日本の伝統話芸を堪能した後、会場に展示された作品を鑑賞。また、来場者には、手作りぜんざいが振舞われました。



▲上豊内公民館で開催された第1回上豊内文化展

し花や陶芸、木工芸、写真、書道、水墨画など、地域住民が公民館講座やデイサービス、趣味などで制作した作品約1

仕 仕事と子育てを両立する中で、私が最も大切にしていた時間は、夜寝る前のひととき。その時間、私が子どもたちにしてきたことは、絵本を読み聞かせることでした。

4人の子どもと過ごしてきた十数年の間に出会った多くの絵本の中から、お気に入りの2冊紹介します。

今月の案内人



井上 理恵さん
(西寒野区)

材料をそろえてホットケーキを焼き上げ、食べた後には後片付けと、子どもたちが卵を割ったり、ボールを押さえたりと、調理のまねっこ

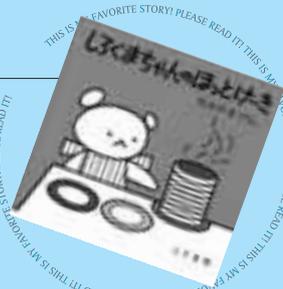
～ My Favorite Story ～
私のおすすめ図書

『しろくまちゃんのほっとけーき』(わかやまけん著)

冷蔵庫から卵を取り出して、牛乳や小麦粉などと混ぜたら、さあ、フライパンへ。ホットケーキが焼けていく12の工程が、楽しい擬音とともにずらりと並ぶ絵本。

をしながら楽しんだ『しろくまちゃんのほっとけーき』。ページをめくるたびに変わっていくワンピースの模様が不思議に楽しく、「わたしに似合うかしら?」の問いかけに、「似合う、似合う!」と答えるやりとりを繰り返して眺めた『わたしのワンピース』。どちらも、わが家の子どもたちが大好きだった絵本です。今ではみんな成長し、当然のこと

ながら親離れの時期を迎えています。今でも、幼いころの姿や絵本を間に挟んで4人と楽しんだ日々の場面を思い出すとき、言葉では言い表しようなない温かな気持ちが胸いっぱい広がります。ぜひ、絵本のある暮らしでの子育てをお勧めします。



元気いっぱい
こうさっ子!



こな
寺本 小夏 ちゃん
(岩下一区)

お兄ちゃん、
いっぱい遊んでね
(父・光太さん 母・恵さん)

HEALTH CALENDAR

1・2月の保健活動

- ❖ 4か月・7か月児健診
1月21日(木) 午前9時
2月18日(木) 午前9時
- ❖ 10か月児教室
2月5日(金) 午前9時30分
- ❖ 1歳6か月児健診
1月26日(火) 午後1時
- ❖ 3歳児健診
1月26日(火) 午後1時20分
- ❖ BCG予防接種
1月8日(金) 午後1時30分
- ❖ 3種混合予防接種
1月14日(木) 午後1時30分
2月9日(火) 午後1時30分
- ❖ 甲友会
1月20日(水) 午前10時
2月17日(水) 午前10時

▶お問い合わせ先
町総合保健福祉センター
☎096-235-8711

❖ お正月は太ってしまう季節

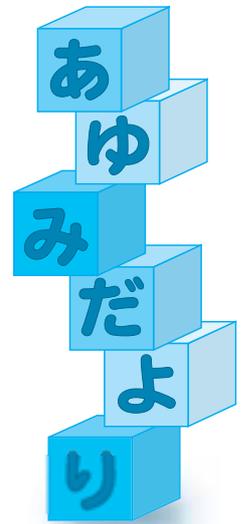
あけましておめでとうございます。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。お正月は、のんびりと過ごされた人も多いと思います。食べてはゴロンという生活を続けてしまうと、お腹周りが気になり、太ってしまいます。

お腹周り(ウエスト周囲径)は、メタボリック症候群の診断基準の1つでもあります(男性85センチ以上、女性90センチ以上)。肥満は、健康にとって好ましいものではありません。

❖ お正月太りの主な原因

お正月太りとは、文字通りお正月に太ってしまうことですが、なぜ起こってしまうのでしょうか。

気温の低い冬は体温維持のためにカロリーを使うので、基礎代謝(何もしなくても消費されるエネルギー)が上がりません。ほかの季節と同じ生活をしていれば、お正月太りなどはしませんが、

お正月の食べ過ぎ・飲み過ぎは
お正月太りの大きな原因です!

町総合保健福祉センター
町地域包括支援センター
☎096-235-8711

のです。原因は、何なのでしょう？

❖ お正月太りの主な原因

① お正月は寒いので、ほかの季節と同じように外に出て活動しない。(消費カロリー不足)

いくら基礎代謝が上がっていても、動かなくて消費カロリーが減ってしまえば太ってしまいます。

② お酒を飲む機会や、豪華な料理を食べる機会が増える。(摂取カロリー過多)

おせち料理に代表される豪華な料理がたくさん出ると、普段はカロリーを気にしている人でも、「お正月くらい

はいいかな」と甘くなり、ついつい食べ過ぎてしまいます。また、お正月には、だからだと飲食を続けることもあります。すると、カロリー過多になってしまいます。

お正月太りとは、動かないこと、食べ過ぎることから起こるのです。

❖ 普段の生活習慣で体調管理

お正月太りの原因が、動かないことと食べ過ぎることと考えられるので、解消の第1歩として、早くお正月気分を抜いて、普段の生活習慣を取り戻しましょう。

❖ お正月太りを防ぐための注意点

- ・ 間食を控える。
- ・ だらだらと飲食しない。
- ・ 夜更かしをせず、規則正しい生活をする。
- ・ お酒を飲みすぎない、酒の席では食べ過ぎない。
- ・ 家では、家事で体を動かす。

情報広場

お知らせ

町農業委員会委員選挙人名簿の登録申請を忘れずに

町農業委員会選挙人名簿は、毎年1月1日現在で資格要件を備えている人からの申請に基づき、選挙資格を調査した上で作成します。

名簿に登録されないと、その後1年間にわたり町農業委員会の選挙による委員の選挙において投票ができませんので、忘れずに申請をしてください。

なお、登録申請書は、平成21年12月に配布していますのでご確認ください。

▼資格要件
次のすべての要件を満たしている者

- ・要件① 本町に住所を有する満20歳以上の人
- ・要件②

(ア)10以上の耕作の業務を営む

人

(イ)耕作の業務を営む人の同居の親族またはその配偶者

(ウ)前記と同様の面積の農地につき、耕作の業務を営む農業生産法人の組合員、社員または株主のいずれかに該当する人

▼お問い合わせ先

・町選挙管理委員会事務局

(町総務課内)

☎096・234・1111

(内線222)

・町農業委員会事務局

(町産業振興課内)

☎096・234・1111

(内線153)

平成22年度軽自動車税の納期変更のお知らせ

町では、平成22年度から軽自動車税の納期を、次のように変更します。

▼納期の変更内容

・変更前 4月11日～4月末日

・変更後 5月1日～5月末日

※賦課期日は従来どおりです。毎年4月1日現在で登録されている軽自動車などの所有者に対して賦課されます。

▼お問い合わせ先

町総務課

☎096・234・1111

(内線111)

2010年世界農林業センサスにご協力ください

農林水産省では、平成22年2月1日現在で、全国一斉に「農林業の国勢調査」といわれる「2010年世界農林業センサス」を実施します。

この調査は、わが国の農業・農山村地域の実態を明らかにし、今後の農林業の政策に役立てるために、5年ごとに実施する極めて大切な調査です。

今月下旬から農林業を営む皆さんのところに調査員が訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いします。

調査票に記入された事項につ

いては、統計以外の目的には使用されませんので、ご協力をお願いいたします。

▼お問い合わせ先

町総務課

☎096・234・1111

(内線252)

・県地域振興部統計調査課

☎096・333・2179

・農林水産省ホームページ

URL <http://www.maff.go.jp>

20歳になったら国民年金に加入しましょう!

20歳を迎える皆さん、ご成人おめでとうございます。

日本に住む20歳以上の人は、自営業・学生などの人は第1号被保険者、会社などに勤めている人で厚生年金や共済年金をすでに支払っている人は第2号被保険者、その第2号被保険者の被扶養者となっている配偶者は第3号被保険者というように、

誰もが60歳までの間、国民年金制度に加入することになってい

日曜当番医

▶町総合保健福祉センター ☎096-235-8711

1月1日	桃崎整形外科	☎096-235-8111
1月2日	甲佐眼科	☎096-235-5600
1月3日	荒瀬病院	☎096-234-1161
1月10日	谷田病院	☎096-234-1248
1月17日	甲佐眼科	☎096-235-5600
1月24日	荒瀬病院	☎096-234-1161
1月31日	谷田病院	☎096-234-1248

町の機関の業務時間が変わります

▶町総務課 ☎096-234-1111(内線221)

平成22年1月から、町の行政機関の業務時間が、次のように変更になります。

●変更内容

・変更前

午前8時30分～午後5時30分

・変更後

午前8時30分～午後5時15分

- ☎町役場 ☎096-234-1111 (代表)
- ☎町教育委員会 (町生涯学習センター) ☎096-234-2447
- ☎町総合保健福祉センター ☎096-235-8711
- ☎町水道管理センター ☎096-234-0755
- ☎町民センター ☎096-234-2459
- ☎町学校給食センター ☎096-234-0255
- ☎町史編さん係 (町教育委員会社会教育課) ☎096-234-3310
- ☎町老人憩いの家 (社)甲佐町社会福祉協議会 ☎096-234-0423
- ☎御船町甲佐町衛生施設組合 (クリーンセンター) ☎096-282-0688
- ☎上益城消防署 ☎096-282-1955
- ☎御船警察署 ☎096-282-1110
- ☎上益城広域連合 ☎096-237-2891
- ☎県上益城地域振興局 ☎096-282-2111
- ☎県御船保健所 ☎096-282-0016
- ☎県庁 ☎096-383-1111

ます。

・そして、老後や万が一のとき基礎年金が受給できるようになっています。

・年金に加入した人には、年金手帳が送られてきます。加入制度が変わったときや年金の請求手続きなどに使用しますので、大切に保管してください。

・次のような異動がありましたら、お早めに届け出をお願いします。

▼手続きに必ず必要な物
年金手帳、印かん

▼届け出が必要な異動事由と手続きに必要な物

・会社を退職したとき
離職日が分かるもの（離職票の写しなど）

・第3号被保険者が配偶者の扶養から外れたとき
扶養から外れたことが分かるもの

・住所、氏名が変わったとき
（年金手帳、印かん）

・任意加入するとき
預金通帳、通帳届出印

・国民年金保険料の納付が困難なとき
（年金手帳、印かん）

・学生で、保険料の納付が困難なとき
学生証

▼届け出先

町住民生活課

▼お問い合わせ先

町住民生活課

TEL 096・234・1111

(内線104)

・熊本年金事務所

TEL 096・367・2503

離職者の皆さんへ 住宅手当の緊急特別措置

県では、離職者の皆さんを対象とした住宅手当の緊急特別措置事業を創設しました。

この事業は、離職者であつて就労能力および就労意欲のある人で、家賃の支払いが困難であるため、住宅を喪失している、または住宅の喪失の恐れのある人に対して、家賃の一部または全額を支給します。

支給額や詳しい手続きなどについては、お気軽にお問い合わせください。

▼対象者

・2年以内に離職した人で、世帯の収入が一定以下など各種要件に該当する人

▼事業開始

平成21年10月から

▼支給期間

・6か月を限度とし、支給期間中は常用就職に向けた就職活動を必要とします。

▼お問い合わせ先

県上益城地域振興局福祉課

TEL 096・282・2111

ふれあい交流会「I & 愛」が結婚活動を応援します

▶甲佐町産業後継者育成対策協議会（町産業振興課内） TEL 096-234-1111（内線155）

独身者の皆さん、ご参加ください

「結婚を考えているが、異性と出会う機会がない」、「異性との接し方が分からない」と思っている人はいらっしゃいませんか？

甲佐町産業後継者育成対策協議会（宮本修治会長）では、そのような思いを持っている人を応援するため、平成21年度から結婚活動応援事業として、ふれあい交流会「I(アイ) & 愛(アイ)」をスタートさせました。

この交流会は、事前に「I & 愛」への参加登録をした独身の男性・女性に、出会いの場を提供しています。現在、町在住の独身者を、次の要領で募集しています。随時、参加登録を受け付けています。

参加申し込みのための登録用紙は、町産業振興課、JA上益城本所・甲佐支所、甲佐町商工会に備え付けてあります。また、町公式ウェブサイトからもダウンロードできます。登録用紙に必要事項を記入して、町産業振興課窓口へお持ちになるか、郵送してください。

登録した個人情報 は当事業にのみ使用し、秘密は厳守します。

■ふれあい交流会参加登録対象者

●男性登録対象者

①～②のいずれの要件にも該当する人

①甲佐町在住

②20歳～49歳までの独身者

●女性登録対象者

20歳～49歳までの独身者



※男性・女性のいずれの登録者も、50歳の誕生日を迎えた時点で、自動的に登録抹消となります。

■お申し込み・お問い合わせ先

・甲佐町産業後継者育成対策協議会事務局
（町産業振興課内）

〒861-4696

甲佐町豊内719番地4

TEL 096-234-1111

（内線155）

・ふれあい交流会専用携帯電話

TEL 080-1705-5339

（担当・藤本）

✉kosa.hu-kouryukai@docomo.ne.jp



●開催●

平成22年甲佐町成人式の開催についてお知らせ

町教育委員会では、平成22年甲佐町成人式を次の日程で開催します。

▼開催日時

平成22年1月10日(日) 午前10時

▼会場

町生涯学習センター・ホール

▼該当者

平成元年4月2日〜平成2年4月1日生まれ

▼お問い合わせ先

町教育委員会社会教育課
☎096・234・2447

●募集●

「特産品づくり」についてみんなで考えてみませんか

町では、現在、地域にある優れた資源を活用した特産品開発を進めています。

特産品開発は、平成23年度までの3年間にわたる事業で、初年度にあたる今年度は、町の地域資源の調査研究を実施していきます。

この取り組みの一環として、

農産品や加工品、郷土料理などの地域資源を調査する目的で、「特産品づくりワークショップ」を開催します。

つきましては、次の要領でワークショップ参加者を募集します。

特産品づくりに関心のある人や地域資源について詳しい人などの参加をお待ちしています。お気軽にご応募ください。

▼開催日程

平成22年2月の平日、夜2時間程度

▼開催回数

2回程度

▼開催形式

ワークショップ(グループごとによる話し合い)

※ワークショップとは、いわゆる会議形式ではなく、特定テーマについて立場や経験の異なる参加者で対等に自由に意見を出し合い、お互いの意見や立場を楽しく学びあいながら、積極的に交流し、アイデアを出し合う手法です。

▼募集対象者

町内に居住、または町内の事業所に勤務する18歳以上の人

▼応募期限

平成22年1月22日(金)

▼応募方法

町産業振興課窓口、電話、ファックス、またはメール

国民健康保険 絵画・ポスターコンクール

▶町住民生活課 ☎096-234-1111 (内線105)

●第16回健康づくり作品コンクール

(主催・熊本県国民健康保険団体連合会)

◆優秀賞



高田 菜里奈ちゃん
(甲佐小5年)



宮崎 龍くん
(白旗小3年)

◆入選



本田 奈菜子ちゃん
(白旗小4年)



本田 しえるちゃん
(乙女小4年)



野口 千鶴ちゃん
(龍野小1年)

●平成21年度甲佐町国民健康保険健康絵画・ポスターコンクール

◆最優秀賞



藤本 裕人くん
(甲佐小3年)



田上 凛奈ちゃん
(白旗小4年)

●熊本県国民健康保険団体連合会および甲佐町国民健康保険では、若い世代から健康づくりの大切さを考える機会として、絵画・ポスターを募集しました。多数の応募の中から決定した入賞作品をご紹介します。

※応募者が多数の場合は、抽選とします。

▼応募・お問い合わせ先

町産業振興課

TEL 096・2334・1111

(内線151)

TEL 096・2334・4400

✉ klg207@town.kosa.lg.jp

平成21年度第3回 危険物取扱者試験

(財)消防試験研究センター熊本支部では、平成21年度第3回危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

▼試験の種類

- ・甲種危険物取扱者試験
- ・乙種危険物取扱者試験(第1類〜第6類)
- ・丙種危険物取扱者試験

▼試験日

平成22年2月14日(日)

▼試験開始時間

- ・甲種、乙種第4類
午前10時
- ・乙種第1・2・3・5・6類、丙種
午後1時

▼試験場所

熊本市

▼願書受付期間

平成22年1月5日(火)〜15日(金)、午前9時〜午後4時30分

※郵送の場合は、1月15日

(金)の消印があるものまで有効です。

▼願書配布場所

・県総務部危機管理・防災消防総室

TEL 096・3333・2116

・(財)消防試験研究センター熊本支部

TEL 096・3664・5005

・最寄りの消防本部、消防署

上益城消防組合本部

TEL 096・282・1955

▼お申し込み・お問い合わせ先

(財)消防試験研究センター熊本支部

熊本市九品寺1丁目11・4

県教育会館4階

TEL 096・3664・5005

熊本さわやか大学校 入学生募集のお知らせ

(財)熊本さわやか長寿財団では、高齢者の皆さんの健康と生きがいづくり、高齢化社会のリーダー育成を目的に「熊本さわやか大学校」を開校しています。1年間にわたる幅広い学習や体験を通して、生きがいの再発見や社会への参加、さらには、新たな交流のきっかけづくりをしませんか。

▼入学資格

平成22年度入学生を次のとおり募集します。

・入学資格

県内在住で、学習意欲のある

60歳以上の入

※昭和25年4月1日以前に生まれ

れた人

▼会場

・熊本校
県総合福祉センター
(熊本市南千反畑町3・7)

・八代校
やつしろハーモニホール
(八代市新町5・20)

▼募集定員

・熊本校 100人
・八代校 80人

※定員を超えた場合は、抽選となります。

▼募集期間

平成22年2月9日(火)〜3月9日(火)

▼講座内容

レクリエーションやリフレクシユ、熊本の歴史についての講座、ボランティア入門、肥後狂句づくりなど、講座は年間40回、テーマは毎回異なります。

楽しく役立つ講座が盛りだくさんです。

▼開催日程

・熊本校 毎週木曜日午前1時30分〜午後3時30分

・八代校 毎週火曜日午後1時30分〜午後3時30分

▼受講期間

平成22年4月〜平成23年3月

▼受講料など

・入学金 1,000円

・受講料 11,000円

※入学時に一括して納付してください。

▼申し込み方法

町福祉課、または町教育委員会に備え付けのパンフレットにてお申し込みください。

▼お問い合わせ先

(財)熊本さわやか長寿財団

TEL 096・354・3083

● 寄附金のお礼 ●

ふるさと甲佐応援寄附金

「ふるさと甲佐応援寄附金」にご協力いただき、誠にありがとうございました。ありがとうございました。

町では、心温まるご好意を町の振興のために大切にさせていただきます。引き続き、多くの皆様のご理解とご協力をお願いします。

▼ご寄附いただいた皆様

お名前 〇〇住所

・森 満雄様 三重県

・高崎健太郎様 神奈川県

▼平成21年度寄附金額合計

166万2,000円

(平成21年12月15日現在)

▼お申し込み・お問い合わせ先

町総務課

TEL 096・2334・1111

(内線226)

クリーンセンターへのごみ搬入量(11月)

種別	搬入量	前月比	前年同期
可燃ごみ	184,360	△5,340	3,920
資源ごみ	21,740	△1,430	1,350
粗大ごみ	4,770	△470	770
合計	210,870	△7,240	6,040

※単位はkg

▶ 町環境衛生課 TEL 096-234-1111 (内線242)

交通事故件数

種別	発生件数
事故件数	41 (△2)
死者	1 (1)
傷者	58 (△4)

12月15日現在(カッコ内は前年比)

▶ 町くらし安全推進室(内線241)

出動火災件数

種別	発生件数
家屋	2 (1)
原野	1 (1)
その他	0 (0)
合計件数	3 (2)

12月15日現在(カッコ内は前年比)

▶ 町くらし安全推進室(内線241)

相談会や体験発表など

▶入場料 無料

※事前の申し込みは不要です。

▶お問い合わせ先

(社)日本オストミー協会熊本県支部
(高野病院大腸肛門病センター内)

☎096-384-1012

募集

平成21年度(後期) ビジネス・キャリア検定試験

熊本県職業能力開発協会

職業能力開発協会では、「人事・人材開発・労務管理」から「経営戦略」までビジネスパーソンの職務を網羅し、国の定める職業能力評価基準に準拠した唯一の公的資格試験として、ビジネス・キャリア検定試験を実施しています。

平成21年度後期検定試験を、次のとおり実施します。試験の詳細などについては、中央職業能力開発協会ホームページでご確認ください。

▶試験日 平成22年3月7日(日)

▶試験単位(後期) 労務管理(1・3級)、人事・人材開発(3級)、総務(2・3級)、経理(3級)、財務管理1級(財務管理・管理会計)、営業(3級)、マーケティング(1・3級)、企業法務(1~3級)、経営戦略(2・3級)など

▶受験資格 受験制限なし

▶受験申請受付期限 平成22年1月19日(火)

▶資料などの請求先

熊本県職業能力開発協会総務・開発振興課(熊本市水前寺6丁目5番19号)

☎096-384-1711

▶お問い合わせ先

・熊本県職業能力開発協会総務・開発振興課

☎096-384-1711

・中央職業能力開発協会ホームページ
URL <http://www.bc.javada.or.jp>

くらし安全

緊急時、頼れるあなたの110番 安心の警察相談は、#9110

御船警察署

110番は、緊急通報用の電話です。

110番通報をする際は、①何が(事件か、事故か)、②いつ(今か、何時ごろか)、③どこで(例「甲佐町の〇〇で」)などを、落ち着いて係員にお話ください。

緊急事件・事故以外の用件は、管轄の警察署や交番、駐在所、または「警察相談電話」をご利用ください。

また、携帯電話のメール機能を利用した「メール110番」もご活用ください。

※県境付近での携帯電話からの110番は、福岡県・大分県・長崎県など他県の警察本部につながる場合がありますので、自分のいる場所をはっきりと伝えてください。

▶お問い合わせ先

・御船警察署

☎096-282-1110

・警察相談電話

☎096-381-9110

☎#9110

・携帯電話メール「メール110番」

✉kumamoto-police110@deluxe.ocn.ne.jp

子育て支援 カレンダー



◆ 甲佐保育園 ☎096-234-0186

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

◆ 若草保育園 ☎096-234-0013

1月15日(金) 鬼のお面づくり

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

◆ 竜野保育園 ☎096-234-0519

1月13日(水) なわとび会

1月20日(水) レストランごっこ

1月22日(金) お誕生会

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

◆ 乙女保育園 ☎096-234-3947

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

◆ 緑川保育所 ☎096-234-0789

1月27日(水) ちびっ子大会

1月28日(木) ちびっ子大会

1月29日(金) ちびっ子大会

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

◆ 地域子育て支援センター (竜野保育園内) ☎096-234-0305

1月6日(水) カレンダーづくり

1月8日(金) 正月あそび

1月13日(水) ボールあそび

1月15日(金) 粘土あそび

1月18日(月) 製作あそび

1月20日(水) 園庭あそび

1月22日(金) お誕生会に参加

1月25日(月) さくらぐみとの交流会

1月27日(水) 絵本コーナーで絵本を読もう

1月29日(金) タコ上げ

育児相談(月~金曜日)

体験保育(午前9時30分~正午)



お知らせ掲示板

お知らせ

話し合いでトラブル解決 利用しやすい民事調停

熊本地方裁判所

日常的なトラブルで、お困りではありませんか？

お金を貸したが返してもらえないなど、裁判してまで解決しようとは考えないが、相手方が裁判所に出頭する可能性が高い事案であれば、話し合いで解決を目指す民事調停という手続きを選択することが考えられます。

民事調停手続きは、調停委員会が当事者双方の言い分を聴き、歩み寄りを促し、当事者の合意によって紛争の解決を図る手続きです。

法律的な評価を基にしながらも、法律のみにとらわれず、紛争の実情に応じた柔軟な解決を図ることができる点が特徴です。

訴訟ほどには手続きが厳格ではないため、誰でも簡単に利用できる上、当事者は調停委員会の進行に従って比較的自由的な形で言い分を述べるができるなどの利点があります。

裁判所の窓口には、貸金請求などいくつかの種類 of 定型の調停申立書が備え付けられているほか、裁判所ウェブサイトからも一部の定型申立書をダウンロードすることができますのでご利用ください。

▶お問い合わせ先

熊本地方裁判所総務課

☎096-325-2121

交通事故無料相談を お気軽にご利用ください

(社)日本損害保険協会

(社)日本損害保険協会では、自動車損害賠償責任保険(自賠責保険)や任意自動車保険に関する相談について、専門の相談員が親身になって応じます。

交通事故などに関する損害保険のことでお困りのときは、お気軽にご利用ください。

▶相談日 月～金曜日・午前9時～午後5時

※祝日、正午～午後1時を除きます。

▶場所 (社)日本損害保険協会熊本自動車保険請求相談センター(熊本市辛島町8-23桜ビル辛島町4階)

☎096-324-8740

※電話相談、面談のいずれも応じます。
※来訪する場合は、事前にご連絡くだ

さい。

▶弁護士相談日 毎月第2・4水曜日
午後1時～午後4時

※弁護士による無料相談会です。

※予約制で、要面談です。

▶ご相談・お問い合わせ先

(社)日本損害保険協会熊本自動車保険
請求相談センター

☎096-324-8740

開催

ストーマケアに関する講演会 ・医療相談会を開催します

(社)日本オストミー協会熊本県支部

(社)日本オストミー協会熊本県支部では、オストメイト(人工肛門・人工膀胱(ぼうこう)保持者)の社会適応訓練の一環として、講演会および医療相談会を開催します。

オストメイトご本人やご家族など、ストーマ(人工肛門・人工膀胱)ケアに関心のある皆さんの参加をお待ちしています。

▶日時 平成22年1月23日(土)午後1時～午後3時

▶会場 済生会熊本病院ガン治療センター4階「コングレスルーム」(熊本市近見5-3-1)

☎096-351-8000

▶日程

・第1部 講演会

演題 「ストーマの合併症から見たストーマケア、スキンケアの基礎的講座」

講師 山形朝子さん(済生会熊本病院皮膚・排泄ケア認定看護師)

・第2部

オストメイトの不安、悩みに対する

SPORTS

甲佐町秋季グラウンドゴルフ大会

☐主催 甲佐町グラウンドゴルフ協会(高木英吉会長) ☐参加者 196人
☐会場 町安津橋健康広場「グリーンパル甲佐」 ☐開催日 11月29日(日)

◆男性の部

- ・1位 村上 靖喜 (下豊内区)
- ・2位 中島 重昭 (岩下一区)
- ・3位 曾我 収 (岩下一区)
- ・4位 北野 久利 (船津区)
- ・5位 内田 義紀 (下豊内区)

◆最高齢者賞

本田 忠明 90歳 (岩下一区)

◆女性の部

- ・1位 松井セツ子 (西寒野区)
- ・2位 北野千鶴子 (船津区)
- ・3位 西 美保子 (仁田子区)
- ・4位 福島トシエ (下豊内区)
- ・5位 永松 睦子 (東寒野区)



「DOYO組」クリスマス童謡コンサート（町生涯学習センター・ホール）

町民文芸

【短歌】 米納 三雄 選

手洗いも嗽もすれどわが家にも矢張り来ましたインフルエンザ
木に止まる鴉向く方に落ちゆく陽ともに見ようか沈みゆくまで
一年の成果を示す文化祭の作品に見るみな才能
ふんわりと優しく咲ける山茶花の淡き色合いじつと眺むる
通学の児らを笑顔で見守れる学習田の案山子六体
携帯電話は持たぬがよろし緊急の用あるごとく夫は電話す
足早に過ぎ行く歳月に遅れじと心に決めて若いも駆け足
華やける銀杏の黄葉束の間を仰ぐ吾が背にはらはらと散る
検診の異常のなきを祈りつつ結果待つ間は口を開かず
円高だ林安だなど騒ぎいるテレビのニュース吾に縁なし
阿蘇路来てホテルに宿る姉妹夜は更けたれど話は尽きず
満開の石路の花黄に冴えて庭一面に輝きており
剪定にまた低くなる庭木々か夫の身丈に合わされており
秋灯下机上視察に降り来しや枯蟻螂は学者顔して
応援をせしチャンピオン遂に負け勝ちたる選手悪魔のごとし

上村やす美 内山タミエ 緒方 明美 赤星 延子 田添 徳子 塚原 暁益 本田富美子 松本ぬい子 森田 房恵 内田乃武子 井上ユリ子 上村 かず 吉永由紀子 本田 隆章 渡辺 幸士

皆さんの作品をお待ちしております。
（町公民館事務局 ☎096-234-2447）

【星】

どの星が妻たろうかと涙ぐむ 林 雅之

寒空にひとときわ光る吾子の星 布田 愛子

星空を見上げて祖父は霜予報 坂口 政子

【落ち葉】

朱を少し残して柿の葉が落ちる 緒方 正堂

濡れ落ち葉もとは職場の鬼課長 北 仁子

落ち葉踏み古希の祝いの宮参り 緒方 瑞枝

【師走】

木枯らしに成りそう師走のマニフェスト 丸岡はる子

師走冷えに追い打ち不況風が吹く 成松 松枝

平凡に生き平凡に来る師走 渡辺 幸士

小鳥来て佛花切る手を休めけり 田端 慶子

夜時雨が竿に並べし玉霽 堀田 孝恵

歳修理漸く終えて年迎う 本田 信子

西南の役碑去り難く大櫓 楠本 美鶴

皓月の山は変わらず月冴ゆる 本田サツ子

秋佳き日天皇即位二十年 古田 幸子

曇り日も明るさ呉る、石落の花 高田れい子

お誕生

住所	氏名	性別	保護者
住 仁田	佐藤 輔	男	総司 晃大
住 仁田	川辺 琉蒼	男	敏敬 一誠
住 芝原	吉田 叶愛	女	敬 一誠
住 府領	上村 琉晟	男	一 信良
住 下横田	川口 時空	男	一 信良
住 岩下	甲斐 莉佳	女	良昌
住 下横田	村上 優輝	男	良昌

ご結婚

住所	氏名
下横田	和田 拓也
八代市	吉田 亜梨沙

【夫 妻】

おくやみ

住所	氏名	年齢	世帯主
南三箇	中村 次徳	79	榮
津志田	一口 佳代	26	訓 男
白 旗	渡邊 親一	92	勇 一
上早川	佐藤 セツ	93	七 ツ
糸 田	緒方 定	83	良 一
吉 田	竹田 義行	86	ツユコ

〔町史編さんだより〕

地球の歴史が洪積世(こうせきせい)から沖積世(ちゅうせきせい)に変わるころ、人間の文化は旧石器時代から縄文時代へと変わります。

この時代を縄文と呼ぶのは、当時生活で使用した土器が「縄文式土器」という縄目の付いた土器が使われていたからです。前代の旧石器時代にはまだ土器は使っていませんでした。今からおよそ1万5千年前に最初の土器が作られました。それから約1万4千年間、縄文時代が続き弥生時代に変わっていきました。

縄文時代の生活は未だ鉄を用いず、全ての道具は石、骨、そして木などで作られていました。生活の仕方は、弓矢や槍による狩猟、釣針・網を使用した漁労、木の実や植物の根を加工する収集・採集が

行われていました。

日本列島は複雑な海岸地帯を持ち、多くの魚類が見られ、遠浅の海では豊富な貝類が採集されました。長い縄文時代には、気候は寒いときと暖かいときがあり、最も暖かい6千年前には今より3度も高く、南国や平地でしか見られ

乙女台地で発掘された世持石佛遺跡(縄文時代)



甲佐の歴史を紡いで

～町史編さんだより(16)～

縄文時代の生活

町史編集委員 島津 義昭 (原始)

ない樹木(照葉樹林)や植物が北の地方や高い山まで見られました。

縄文人の主食はドングリ類を焼いたパンで、その中に動物の肉・貝を混ぜた今日の「ミックス・ピザ」のようなものでした。縄文時代の半ば以降には塩の生産も始まったよう

です。

熊本平野は、縄文時代には全体が海で嘉島町の西側辺りまで海が侵入していました。甲佐町も、吉田・芝原の低い土地は海であつたかも知れませんが、城南町の阿高、嘉島町の下六嘉に縄文人が食べた後の魚貝を捨てた跡(貝塚)が見られます。

甲佐町では、各地に縄文人の生活の跡が知られています。が、旧石器の遺跡でもよく知られている大峰で、8千年前の縄文土器が発見されているほか、乙女台地上にも遺跡があります。石の矢じりの発見される場所もあります。

▼『甲佐町史』編さんに関するお問い合わせ先
町社会教育課町史編纂係
☎096・234・3310

編集後記

話題でご紹介した乙女校区防犯パトロール隊は、本町で初めて結成された地域主体のパトロール隊。悲惨な事件・事故から、子どもたちを地域で守るために立ち上げられました。

同隊の活動が伝わり、地域の高齢者の間に同心円のように波及。散歩を登下校時に合わせて同行するなど、子どもたちとの触れ合いが毎日の日課となり生きがいとなって、地域全体での取り組みとして発展しています。現在は、当初の目的を達成したことから発展的に隊を解消。

隊員の皆さんは地域の活動に合流する形で、引き続き地域の子どもたちを見守っています。

代表の安達さんは「地域を大切にしたいと願って活動する大人たちの背中を見て育つことで、大人になったとき、地域を思う気持ちを受け継いでくれる」と未来に思いをはせます。(C)

DATA		
平成21年11月30日現在		
人口・世帯数	増減	
男	5,376	0
女	6,115	2
計	11,491	2
世帯数	4,140	0



木の風景

木の風景 [76]

大祇神社の
クスノキ

所在地：西寒野



クスノキ <楠・樟>

クスノキ科クスノキ属 [常緑高木]

西寒野の大祇神社の境内には、拝殿の前に、弓なりに大きく緩やかに反ったクスノキが立つ。

同神社は、古代日本で活躍したといわれる、日本武尊（やまとたけるのみこと）の父とされる第12代景行天皇を祭る。

例年、秋に開催される祭りには地域住民が多く参加し、さまざまな工夫を凝らした催しが行われ、終日人出でにぎわう。平成21年9月には、拝殿が改築された。

<説明>

高さは20^{メートル}、高いものになると50^{メートル}に達する巨木もある。

クスノキは生長が早く、樟脳（しょ

うのう）という有用物質を含むため、温暖な地域で盛んに栽培されてきた。

材は虫害に強く、また硬く綿密で、光沢があり、建築材や彫刻材、家具材、器具材などに利用され、特に昔は、大きな構造物の建築に欠かせなかった。また、耐水性にも優れているため、古代から船材としても利用され、遺跡から丸木舟が出土している。

広報

こうさ

2010年（平成22年）1月号
通巻486号

今月の表紙

12月6日（日）開催の熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会一般の部で初優勝した今井正人競技者のフィニッシュ。